



《若手長芋掘り取り職人》

古川^{きいち}貴一さん(上竹田)

身近でやっていた祖父と叔父の影響もあり農業の職に就いた。初めのころは指導を受けながら行っていたスイカと長芋の栽培も、4年目の現在では作付けから収穫までを自分ひとりでできるようになったが、大先輩ふたりの厳しい指導は、今も時々受けているという。

栽培技術ではまだまだ敵わないが、長芋掘り取り作業は20年以上やっている叔父に肩を並べるレベルにすでに達している。

いつの日か栽培技術・口ともに大先輩を超えられるよう、夢見る。

(12月12日 長芋畑にて)

働く姿

告知板

◆図書館企画「蔵書印」を作ろう!◆

好きな本に押す「蔵書印」を消しゴムはんこで作ります。

日時：1月21日(土) 10:00~12:00

会場：トレーニングセンター
ふるさと大ホール

材料費：650円

定員：小学生以上15名

低学年は親子で参加してください。

問い合わせ：山形村図書館 Tel98-3155

◆年末年始の休館情報◆

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、図書館の年末年始の休館についてお知らせします。

【休館日】12月29日(木)~1月3日(火)



11月17日(木)、山形村図書館で一夜限りのナイト・ライブラリー2016が行われました。おはなしの会のメンバーによる語りや絵本の読み聞かせが行われ、『夜空にひろがる笑い声』のキャッチコピーどおりに来館された方々を楽しませていました。

ナイト・ライブラリー
夜の図書館へようこそ



11月18日(金)、山形保育園で育てた芋を使った焼き芋も会が行われました。園児たちはアルミホイルに包んだ芋を火の中に投げ入れると、まだまだかかと焼き上がり待ちました。焼き上がった芋はとても甘く、おかわりをせがむ姿が多く見られました。

ホクホク甘くて大満足



和太鼓体験
「リズムよくたたくと気持ちいいね」



ワンバウンドふらばーるバレー
「狙ったところにボールがいかない!」

12月3日(土)、小学校とトレーニングセンターにて教養部主催の山小あそびの広場が行われました。参加した児童からは「家であそぶよりおもしろかった。」「もつとやりたかった。」「授業ではやってくれないことをしてくれて楽しかった。」「など、また参加したいという声が多く聞かれました。

山小あそびの広場



米粉のパンケーキ作り
「うまくひっくり返せた!」



プログラミングでゲーム作り
「ここをクリックすれば……」



ハーブを使ったアロマせっけん作り
「好きな匂いのせっけんにしよう」

山すそ

みなさんは、この言葉を知っていますか? 「稚拙(ちじつ)」。編集部にいたらなければ出会うこともなかった言葉です。▼編集部員になり7ヶ月が経とうとしている私の流し語でもあり恐怖の言葉でもあります。▼「くが、」を連続して使わない。「の」を3回以上一つの文中に書いてはいけないなど、ついついやつてしまいがちなことを「稚拙な文章」というのです。▼未熟な私は文章を書くのが苦手です。そんな人間が何故編集部員を引き受けてしまったのか自問自答しつつ、日本人なのに日本語を使う難しさを今味わっています。▼ここにいるベテラン編集部員は、私が数週間も悩み考え抜いた文章をいとも簡単に直してしまふ凄人な方々です。▼「今日の会議は遅くまでかかったよね。」の日は明らかに私の文章を一から直してくれている時なのです。自分に力がなく足を引っ張ってしまったって本当に申し訳なく思っています。文章を書くこと人にとって伝えなければならないのか日々勉強中です。

yamagata sports
山スポ

村のスポーツも 秋から冬へ

第65回 県縦断 駅伝

地域の代表15チームが競う第65回県縦断駅伝が11月19日(土)(長野市から岡谷市) 20日(日)(松本市から飯田市)の2日間行われ、山形村出身の5選手も塩尻東筑木曾チームの一員として県内を駆け抜けました。8区を走った上田桂悟さん(下竹田)は区間8位と健闘。チームは目標としていた8位入賞は逃したものの去年よりひとつ順位を上げ、総合10位という成績でした。

村から出場した選手

3区



村上 裕雅
(下竹田)

8区



上田 桂悟
(下竹田)

14区



菅沼 直紘
(上竹田)

19区



菅沼 真衣
(上竹田)

18区



村上 真也
(下竹田)

「監督より一言」

若い力が確実に成長し、来年以降も期待出来る結果となりました。今後とも応援よろしくお願ひいたします。

エンジョイ！ ニゴースポーツ

11月16日(水)・30日(水)、トレーニングセンター体育館でニゴースポーツの体験会が行われ、延べ22名が参加しました。柔らかく変形したボールを使うため、どこにバウンドするか分からない「ふらばゆるバレー」や、ワンバウンドさせ



ることでラリーが続きやすい「ふわつとテニス」などを楽しみながら体験しました。

楽しく直剣こー！

11月27日(日)、トレーニングセンター体育館にて、東筑バドミントン交流大会が行われました。村内外から26チームが参加し熱戦が繰りひろげられ、会場は和やかなムードの中にも時折折強烈なスマッシュが決まるなど、気合の入ったプレーもたくさん見られました



た。出場した塩原敦志さん(上竹田)は男子ダブルスの部で準優勝の好成績を収めました。

スイスイーこと

12月8日(木)、やまびこスケートの森で1・2学年のスケート教室が行われました。1年生は初めて滑る児童が多かったものの、インストラクターの話を真面目に聞いてぐんぐん上達していききました。2年生は昨年実施していることもあり、少し練習で転ぶ回数



も減り、リンクを周回する姿もありました。両学年とも、マナーをしっかり守って取り組むことができました。

んな年でしたか? 振り返る



今年も残すところあとわずか。今夏のリオ五輪、表彰台で輝く選手たちの姿に列島が歓喜に沸きました。四年後の東京五輪がとてもしみじみです。さて、みなさんはどのような一年を過ごしてきましたか。そこで、「それぞれの申年」を振り返ってもらいました。

充実した高校生活



籾町 佳代
(下大池)

今年高校生活最後の大切な一年間でした。私は弓道部に所属し、全国大会出場を目標に掲げて日々練習に励んできました。個人戦では北信越大会に出場し、公式試合とは違う雰囲気の中で貴重な体験をすることができました。三年間やってきた弓道を通して、最後まで諦めず、苦しいことから逃げない忍耐強さを得ることができました。部活動は多くの人と関わることでできた一生忘れられない思い出です。それと同時に、勉強にも力を入れてきました。進路実現に向けて毎日の積み重ねを大切に、勉強に対する意識を常に高く持って励んできました。部活と勉強の両立はとても大変でしたが、この二つがあっただけで一年間充実した生活を送ることができたと思います。高校生活の区切りである今年、私を支えてくれる家族や友だちへの感謝をより強く感じさせてくれる一年となりました。

仲間への感謝



百瀬 貴子
(下竹田)

私のこの一年は、少年野球山形キヨミズで始まり、終わったと言ってもいい一年でした。保護者会長となった夫と共に、宮前監督のもと、一年生から六年生まで総勢二十人の子どもたちが練習に励み、試合に臨む姿を応援してきました。今年、六年生が二人で、学年の枠を超えて子どもも保護者も団結し、熱い戦いを繰り広げた結果、予想以上の良い成績を収めることができました。子どもの成長には目をみはるものがあります。親がこんなに近くで見られるのは、小学校時代が最後かもしれない。家族と一緒に喜びもくやしき味わい、親子も良い仲間にも恵まれた、楽しく充実した一年でした。

野球を通じて



窪田 和哉
(小坂)

私は昨年村の野球チームの清水クラブと早起き野球に参加させてもらっています。子どもの頃から始めた野球は今に至るまでかなり年齢の近い人たちがチームメイトでしたが、現在は自分と同じ年代は少なく、自分より年上の様々な年代の人たちの中で野球をやらせてもらっています。このように多くの人たちと関わるのは初めてのことで、自分にとって、とてもいい刺激になっており、色々なことを学ばせてもらっています。私は現在、教職員を目指し勉強しています。小学校から続けてきた野球を通じて、指導者の方や保護者の方、そして今野球に関わっている人達から学んだことが教師を目指す自分にとって、とても良い教訓となっています。

2016年重大ニュース (全国版)

- 1月・マイナンバー制度開始
- 3月・東日本大震災から5年が経過
- 4月・平成28年熊本地震発生
- 6月・イチロー選手通算安打数でピートローズを超える
- 7月・『ポケモンGO』の日本配信開始
- 8月・「山の日」が国民の祝日に!
- 9月・リオ五輪で日本の獲得メダル数は過去最多の41個(金が12個、銀8個、銅21個)
- 9月・東京ディズニーシー15周年
- ・広島が25年ぶり7度目のリーグ優勝
- ・日本ハム、最大11・5ゲーム差を逆転し優勝
- ・レスリングの伊調馨さん国民栄誉賞受賞
- 10月・「PPAP」が世界134カ国に同時配信
- ・阿蘇山の爆発的な噴火
- 11月・米大統領選、共和党のトランプ氏勝利
- ・福岡で大規模陥没事故

＊流行語大賞 『神ってる』
＊今年の漢字 『金』
＊今年の節目 「サザエさん」 生誕70周年 「夏目漱石」 没後100年

今年はどう 2016を



山形村データあれこれ	
人口	8,762人
男	4,348人
女	4,414人
世帯数	2,976世帯
出生数	46人
死亡数	90人
転入数	287人
転出数	272人
(役場 11月末現在)	
村内における人身事故	24件
負傷者	29人
死亡者	1人
(松本警察署 11月末現在)	

えっ？



小野 みどり
(上竹田)

今年の二月から、主人が震災で崩れた福島県小峰城の石垣の修復に携わることになり、離れ離れの生活が始まりました。たまに帰ってきた時の飲み会の席で、私がふざけたつもりで言っていた言葉に、すごく傷ついている事を知り、悪いことをしてしまったと痛感しました。どうやって心の傷を癒してあげれば良いのか、次の日から「大好きだよ！」と毎日言い続けてきました。すると主人の体中に大量発生したイボが一カ月で完治してしまい、原因は私？…みたいなの。主人も「お前か！」って。いくら飲み続けた薬も効かない訳でして。言葉は言葉、魔法が宿るとも言います。一緒にいられる少ない時間を大切に、使う言葉に気をつけなければいけないですね。離れてわかる主人の大切さや、私を支え養ってくれていることが、このうえない幸せだと思えます。いろんな事を改めて気づかされた年でした。

力強い支えに感謝



百瀬 渡
(中大池)

私が「体育部長？」そんな技量もなく仕事は不規則で夜勤もあり、「とても無理」とお断りしたが、結局引き受けることに。体育部の大きな仕事は村民運動会であり、私の住む中大池は戸数が少なく選手を探すのにひと苦労だが、いざその段になると分館長をはじめ部員さんが素晴らしい。公民館はまるで選挙事務所と化し、手分けして選手候補宅へ「是非、お願いします」と電話を掛けまくる。また、選手を快く受けていただいたお宅もあり、うれしい限りである。

大きな変化と新たな経験



中村 賢三郎
(上大池)

今年の大きな変化としてまず転職です。以前私は、現場責任者として水力発電所の保守・点検業務をしてきました。前職は人との関わりが多くやりがいのある仕事でしたが、出張・転勤が多く、また早朝出勤・深夜帰宅も続き、娘の顔を見る事が非常に少ない状況でした。山形村に残りたいという思いのなか、名古屋へ異動となったため、転勤を機に転職を決意し、山形村役場への就職が決まりました。また、今年には消防団にも入団し、更には村の方との交流が増えました。十一月には第二子にも恵まれ、家族では二児の親父として、日々楽しくも大変な毎日を送っています。役場に就職し毎日新たな経験がほとんどですが、上司、先輩にも恵まれ、公私とも充実した毎日を送っています。と、こんな形で今年一年を振り返ってみると、慌ただしくも非常に実りのある一年となりました。

山形村では…



村民運動会は2年連続中止に日の目を見なかった賞状たち



じゃんずらは警備面を強化断腸の思いで花火規模を縮小



清水高原にて雨水による倒木一時的に孤立状態にもなった



★チーム紹介★

少年野球山形キヨミズは春から秋はトレセングラウンド、冬はふれあいドームを主な練習拠点として活動しています。練習日は水曜日の放課後と土曜・日曜日で、春から秋のハイシーズンに入ると高学年チームは毎週のように大会に臨み、白球を追いかけ回します。

★シーズン振り返って★
松本市少年軟式野球連盟に所属し、毎年安定して上位の成績を収めています。今シーズンは優勝こそありませんでしたが2人の6年生がチームを引っ張り、準優勝・3位入賞を連発。連盟での勝率11チーム中4位という好成績を収めました。

★チヨツと自慢させて★
小さな村のチームですが、凄い実績を持っています。毎年夏休みに東京の神宮球場を主会場として、学童野球の頂点を決める全国大会『マクドナルドトーナメント』に激戦を勝ち抜き、県代表として2度の出場を果たしているのです。各地区の選抜チームが主流の大会で勝ち取ったこの成績って、ホント凄い事なのです！まさに、"小さな巨人"です。

★新チーム始動★

12月から活動を開始した新チームは、山形小学校の児童を中心に1年生から5年生までの19名が所属し、監督（生きる伝説！）とコーチの熱い指導の下『野球を通じた人づくりの第一歩』を念頭に（もちろん勝てる練習もやっています）練習に励んでいます。メンバーにはデカい子から小ぶりな子まで揃い、個性的で面白いチームになりそうです。山形キヨミズは来年も全国大会を目指して頑張ります。



山キヨ春夏秋冬

部員募集中

《対象》小学校1年生から5年生の男子女子
《練習日》水・土・日・祝日
《練習場所》トレセングラウンド・ふれあいドーム
《練習時間》水曜日 16:30~19:00
土・日・祝日 8:30~16:00
※練習場所・時間については天候や試合などにより変更することがあります。
《野球だけじゃない》バーベキュー・海水浴などイベント盛りだくさん！

《お問い合わせ》
保護者代表 籠田隆志
TEL 0263-98-2384
携帯 090-4180-8822



おめでた(子・親)



(敬称略)

伊藤 鳳人・慎太郎
中村 真優・賢三郎
横水 葵斗・勇太

中村 真優・千香
横水 葵斗・沙也加
唐澤 義雄・小坂

おくやみ

唐澤 義雄・71歳・小坂
齋藤 宏・83歳・下竹田
古畑 節子・91歳・上大池
古畑 徳美・92歳・小坂
上條 静男・88歳・中大池
百瀬 玲司・82歳・下竹田
上條 志づ子・98歳・上竹田
中谷 政子・88歳・中大池

福祉のつどい



12月10日(土)、ふれあいドームで山形村福祉のつどいが開催され、参加者による災害ボランティアセンター立ち上げ訓練や、岩手県山田町社協の阿部寛之さんによる講演『東日本大震災発災から現在までの活動と課題』が行われました。また、社会福祉協議会会長表彰では活動に貢献した4名の方が表彰されました。

中大池分館 お達者ふれあい会



11月27日(日)、中大池分館社会部主催のお達者ふれあい会が語り部の館で行われました。

マジシャン叶音さんによるバルーン・マジックショー、中大池祭りばやし保存会と本年の大池諏訪神社祭典乗り子の皆さんによる演奏が行われ、参加者を楽しませました。



公民館講座 知って得する相続の豆知識

11月24日(木)、トレーニングセンターふるさと大ホールで相続についての公民館講座が開催されました。当日は、相続手続支援センターの専任相談員である清水あゆ子さんを講師に招き、相続税の基礎知識から贈与や遺言など相続に

関するあれこれを分かりやすく教えていただきました。誰にでも関わりのある相続です。いざと言う時に慌てないように、ご家庭でも一度話題にしてみるといういいですね。



山形村公民館大会

12月9日(金)、トレーニングセンターふるさと大ホールで28年度の山形村公民館大会が行われました。

事例発表では最初に、「地域おこし協力隊に聞く」と題して、お隣朝日村の産業振興課地域おこし協力隊の大久保正晃さんから、朝日村の情報発信やイベント企画への取り組み、隣村から見た山形村のイメージなどのお話がありました。

続いて行われた、「活生き塾」学びの成果の発表では、公民館講座での一年間の活動内容の紹介と共に、夏の料理講座で作った

「彩り稲荷そば」の試食会も行われ、参加者の皆さんが美味しいそうに頬張っていました。



大久保さんと活生き塾参加者



彩り稲荷の試食

みんなの人権 ⑨

あるPTA会長の日記から

～わが村の「男女共同参画」について考える



◇次の文は、あるPTA会長の体験談です。二月十八日(水)・来年度の本部役員

の推薦が決まった。初めてPTA会長を受けたときはちよっとスリルがあった。「清水の舞台から飛び降りるつもりで」などと言ってみたが、一年たってみると何とか助け合ってできるものだと思えた。子ども、先生、保護者の立場を思いやる気持ちがあれば前向きに考えられる気がする。でも本音の部分では、あと一年と思うとちよっと気が重いとくももある。《》：二月十九日(木)・新入生保護者会でPTAの説明をする。参加者の中に「あなた会長だったのね」とびっくりした顔で見ている近所の人に出会って少し照れてしまった。三月七日(土)・(会議のたび)いつもその場で挨拶をするが、これが私には一番のプレッシャーになる。この一年は挨拶との戦いだった気がする。校区の中学校の卒業式に列席した。驚くほど大人びて見える彼らの卒業の歌の素晴らしさに思わず聞き惚れてしまった。◇この体験談を綴られたPTA会長の年齢、身長、服装、髪型などを想像しながらその姿をイラストで描いてみましょう。そして、「《》の部分にはどんな言葉が隠されているのか、話し合ってみましょう。◇実は、これは平成10年の日本PTA新聞に掲載された会長体験記です。そして「《》」に隠された言葉は、「ちなみに、来年度も会長を引き受けたことを、夫や子どもはまだ知らない。」と言ったものでした。◇それから二十年。長野県の平成27年度調査によれば、県内小・中学校のPTA会長545人中女性会長は26人(4.8%)、副会長は1,302人中618人(47.5%)。ちなみに県内自治会長(区長)3,928人中女性性は30人(0.8%)。◇年度末を控えて、村内各地区では、様々な役員選出の時期を迎えます。村のアンケート調査(H25年度)によれば、「あなたは現在、世の中は男女平等な社会だと思いますか」との問いに「平等でない」と答えたのは、女性が72.2%、男性が72.9%。そのうち、「平等でない」と思う分野について、「職場、家庭、社会の慣例・通念」と並んで、「地域」が挙げられています。各区の役員改選の会合などの折りに、「あるPTA会長の体験談」や村のアンケートなどを参考に、「男女共同参画の視点」からも、協議を深めたいものです。(H28.12 M・H記)

新鮮な気持ちでチャレンジ

2017 ミス松本 矢嶋 あかりさん



今回で41代目となる『2017ミス松本』に山形村出身で幼稚園教員の矢嶋あかりさんが選出されました。山形村出身者の受賞は昨年

に続いてのことで、2年連続のうれしいニュースが届きました。知人の勧めでミス松本のコンテストに応募しました。受賞後、園児やその保護者から「あかり先生おめでとう」と祝福されたときはとてもうれしかったです。

11月3日祝の松本市民祭が初めてのイベントでした。「恒例のパレードでは沿道よりたくさんの人から声援をいただき、市民から愛されている『ミス松本』を直接肌で感じる事ができました。ミス松本は常に人から見られる存在なので立ち居振る舞いや挨拶が大切だと気付かせていただきました。幼稚園の仕事と掛け持ちで忙しくなりませんが、常に新鮮な気持ちでいろいろな体験をしていきたいと思えます。松本市を全国にアピールし松本のファンを一人でも多く増やすよう頑張ります」とあかりさん。充実した1年間となります。来年も期待しています。



松本市民祭パレードにて

小林 愛理^{あいり}さん

下大池
(ふたご座)



籾町 亮^{りょう}さん

下大池
(ふたご座)

エンジニアを
めざして



多彩な才能の持ち主の愛理さんですが、日本の工業会を背負って立つエンジニアになるという将来像を描き、勉強も真剣に取り組んでいます。

現在は松本工業高校電子工業科に通う女子高生。高校の部活動では電子工学クラブのマイコンカー班に所属。プログラミングをしたり、ときには半田ごても使いこなしているそうです。

イラストを描くことが大好きだという愛理さん。中学生時代は白峰祭のポスターに3年連続で受賞という凄腕の経歴を持っています。

プライドを
持つて



現在警備会社に勤務する亮さんは、金融機関の常駐警備という責任のある職務で緊張の日々を送っています。警備員の制服にプライドを持ち、毅然とした態度で臨むやりがいのある仕事だそうです。趣味はドライブと古い家電集め。特に80年代以降に流行ったカセットオーディオにハマっています。「いつかは80年代の名車ハチロクを所有し、カセットプレーヤーを搭載しドライブするのが夢」と話が尽きない亮さん。趣味にもプライドを持つて愉しんでいます。